

第3回 医療テクノロジー推進会議

戦略会議 報告

アジアとの連携・交流

平成22年10月5日

主査 下條 文武

委員名簿

(敬称略)

- 主査 下條 文武 (新潟大学 学長)
- 副主査 城風 淳一 (旭化成クラレメディカル(株) 医療製品開発本部長)
- 学側委員 酒谷 薫 (日本大学医学部 脳神経外科学系光量子脳工学分野 教授)
- 産側委員 井上 正治 ((株)カネカ 医療機器事業部 海外事業推進グループ 幹部職)
- 栗田 秀一 (日本光電工業(株) 海外事業本部 販売推進部長)
- 野村 治 (テルモ(株) 薬事部課長)
- 古屋 進 ((株)日立メディコ 経営サポート本部 医学連携担当 部長)

報告の内容

1. これまでの取り組み
2. 医学会108学会へのアンケート調査の中間報告
3. 今後の取り組み

これまでの取り組み

1. アジアにおける共同研究(糖尿病や腎臓病分野)の検討
2. 医療機器の規制状況とAHWPの現状掌握
3. 医療技術(透析療法・健診トレーニングセンター)の普及検討
4. 業界団体(OMETA、JIRA)からのヒアリング
5. 日本中医学会理事長による講演と意見交換
6. 中国駐日大使館 科学技術担当官(一等書記官)表敬訪問
7. 医学会108学会へのアジアとの国際交流に関するアンケート調査の実施

AHWP: Asian Harmonization Working Party アジア規制整合作業会議

OMETA: Overseas Medical Equipment Technical Assistants NPO法人海外医療機器技術協力会

JIRA: Japan Industries Association of Radiological Systems 社団法人日本画像医療システム工業会

医学会108学会へのアジアとの国際交流に関するアンケート調査 中間報告

対象学会:日本医学会108分科会(国内の主要医学会)

調査期間:平成22年9月6日~9月24日

回答状況:有効ご回答 57学会(回収率52.8%)

調査内容

- ① 貴学会としてアジア諸国の学会との国際交流をどのようにお考えでいますか。
- ② アジアの国々との国際交流を行っていますか、若しくは行う予定をご記入ください。
- ③ 国際交流の活動は、どのようなことを行っていますか。
- ④ 貴学会では、アジア諸国との共同研究を支援する制度や仕組みがありますか。
- ⑤ 共同研究を推進する上で考えられる学側の課題について、ご記入ください。
- ⑥ アジアとの国際交流研究テーマ、若しくは興味のあるテーマをご記入ください。
- ⑦ 産学連携でアジアとの国際交流を推進する際、国内企業に期待する活動は。
- ⑧ 我国の医療機器をアジアに展開推進する上での課題について、ご記入ください。
- ⑨ 医療機器の研究開発で、産業界に対する要望やご意見について、ご記入ください。
- ⑩ 日本医療機器産業連合会やMETISについて、ご存知ですか。

日本医学会108分科会リストとご回答状況

○:ご回答学会

1	日本医史学会	
2	日本解剖学会	
3	日本生理学会	
4	日本生化学会	
5	日本薬理学会	
6	日本病理学会	○
7	日本癌学会	
8	日本血液学会	
9	日本細菌学会	
10	日本寄生虫学会	○
11	日本法医学会	○
12	日本衛生学会	○
13	日本民族衛生学会	○
14	日本栄養・食糧学会	○
15	日本温泉気候物理医学会	○
16	日本内分泌学会	○
17	日本内科学会	○
18	日本小児科学会	
19	日本感染症学会	○
20	日本結核病学会	○
21	日本消化器病学会	○
22	日本循環器学会	
23	日本精神神経学会	
24	日本外科学会	
25	日本整形外科学会	○
26	日本産科婦人科学会	○
27	日本眼科学会	
28	日本耳鼻咽喉科学会	○
29	日本皮膚科学会	
30	日本泌尿器科学会	○
31	日本口腔科学会	
32	日本医学放射線学会	
33	日本保険医学会	
34	日本医療機器学会	○
35	日本ハンセン病学会	○
36	日本公衆衛生学会	
37	日本衛生動物学会	○
38	日本交通医学会	○

39	日本体力医学会	
40	日本産業衛生学会	
41	日本気管食道科学会	○
42	日本アレルギー学会	○
43	日本化学療法学会	
44	日本ウイルス学会	○
45	日本麻酔科学会	
46	日本胸部外科学会	
47	日本脳神経外科学会	○
48	日本輸血・細胞治療学会	○
49	日本医真菌学会	
50	日本農村医学会	
51	日本糖尿病学会	○
52	日本矯正医学会	
53	日本神経学会	
54	日本老年医学会	
55	日本人類遺伝学会	○
56	日本リハビリテーション医学会	
57	日本呼吸器学会	○
58	日本腎臓学会	○
59	日本リウマチ学会	
60	日本生体医工学会	
61	日本先天異常学会	○
62	日本肝臓学会	
63	日本形成外科学会	○
64	日本熱帯医学会	
65	日本小児外科学会	
66	日本脈管学会	
67	日本周産期・新生児医学会	○
68	日本人工臓器学会	○
69	日本免疫学会	
70	日本消化器外科学会	
71	日本臨床検査医学会	○
72	日本核医学会	○
73	日本生殖医学会	
74	日本救急医学会	○
75	日本心身医学会	○
76	日本医療・病院管理学会	

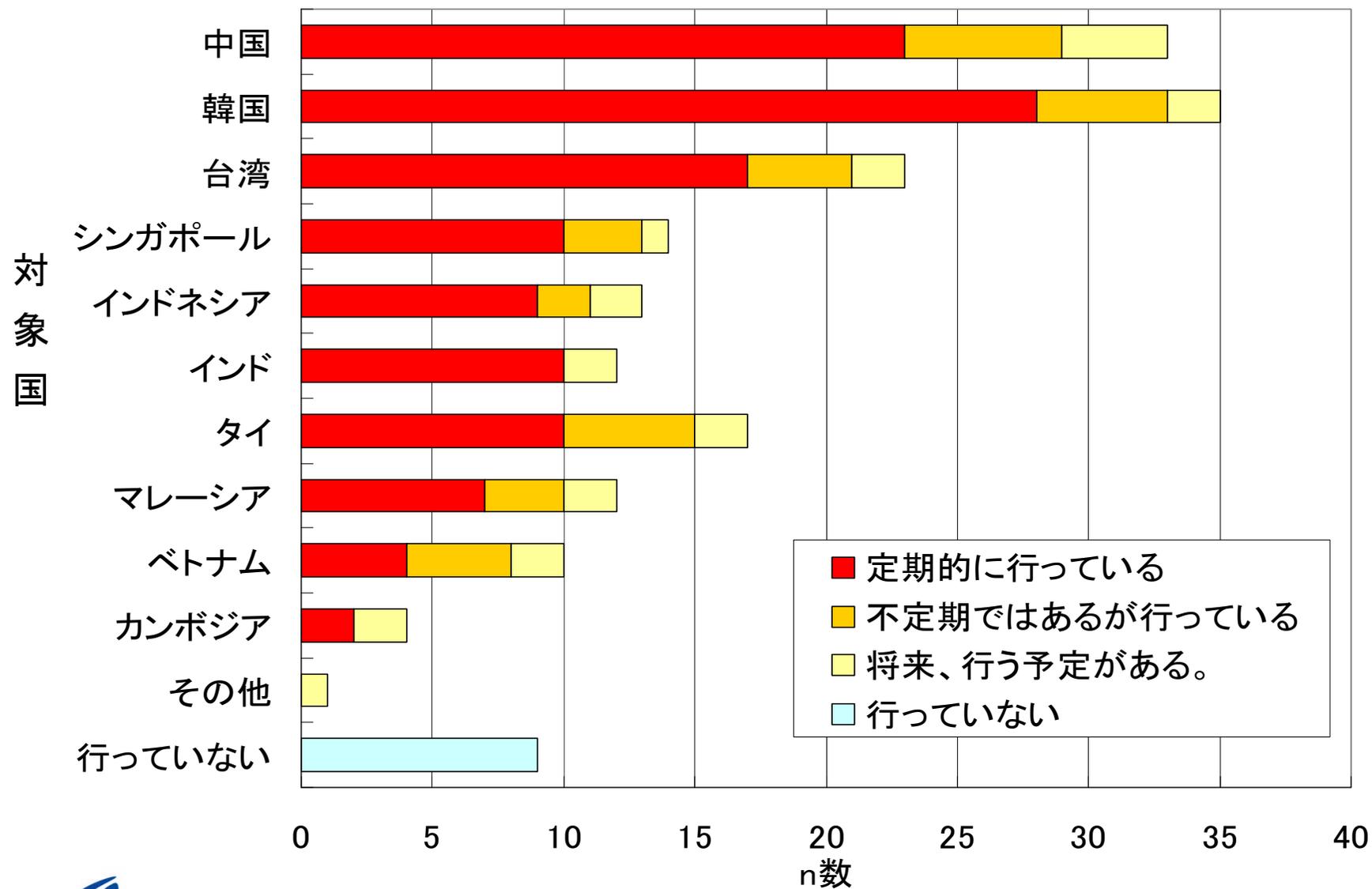
77	日本消化器内視鏡学会	○
78	日本癌治療学会	○
79	日本移植学会	○
80	日本職業・災害医学会	
81	日本心臓血管外科学会	○
82	日本リンパ網内系学会	
83	日本自律神経学会	○
84	日本大腸肛門病学会	○
85	日本超音波医学会	○
86	日本動脈硬化学会	
87	日本東洋医学会	○
88	日本小児神経学会	
89	日本呼吸器外科学会	○
90	日本医学教育学会	○
91	日本医療情報学会	
92	日本疫学会	○
93	日本集中治療医学会	○
94	日本平滑筋学会	
95	日本臨床薬理学会	
96	日本神経病理学会	○
97	日本脳卒中学会	
98	日本高血圧学会	○
99	日本臨床細胞学会	
100	日本透析医学会	○
101	日本内視鏡外科学会	○
102	日本乳癌学会	○
103	日本肥満学会	○
104	日本血栓止血学会	○
105	日本血管外科学会	○
106	日本レーザー医学会	
107	日本臨床腫瘍学会	○
108	日本呼吸器内視鏡学会	○

質問① アジア諸国の学会との国際交流をどのように考えますか

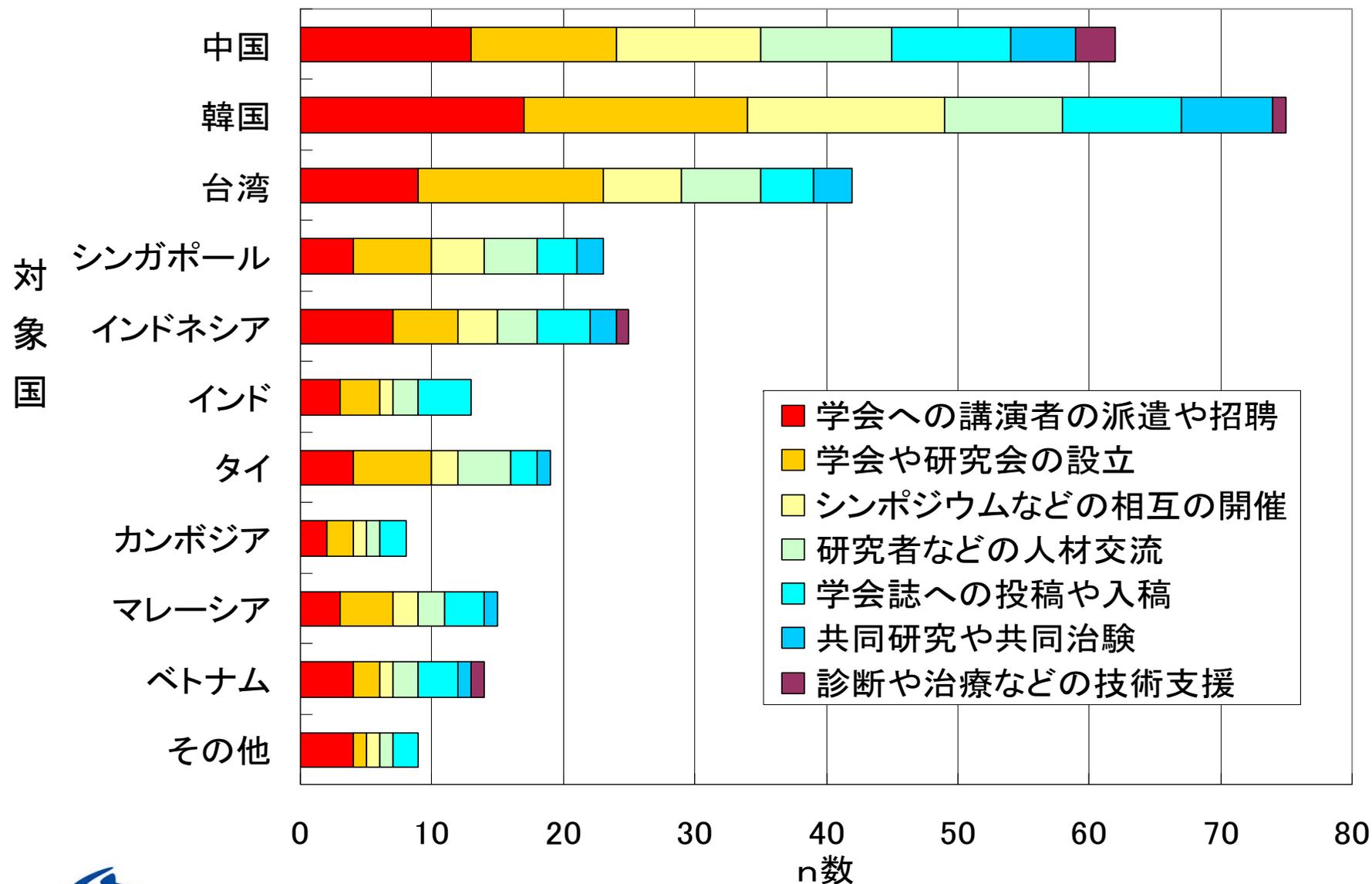
(回答の一部抜粋)

- ・ アジア特有の医療的、医学的問題もあるなか、アジア諸国との直接的な交流は望まれている。
特に、中国、韓国については、疾病構造も共通するところがあり、共有する医学的問題も多いことから、積極的な交流があってしかるべきである。
- ・ アジアは世界の人口の多数を占める場所で、これからの発展が期待できる場所である。アジアの医療機関のトップクラスはレベルが高くなっており、市場としても学問交流においても有望である。
- ・ 医療に関するエビデンスと呼ばれるものや、ガイドラインの基になる臨床研究はほとんど(全部と言っていいのかもしれない)が欧米から発信されたものである。アジア諸国と交流して欧米に負けない研究を発信するためには、アジア諸国と密接に連携して研究を行う体制を作らなければならない。
- ・ 韓国や中国の医療進歩は目覚ましいものがある。その他の国の研究もすばらしい勢いで進んでいる。ぼんやりしていると日本がアジアの医療後進国になりかねない。

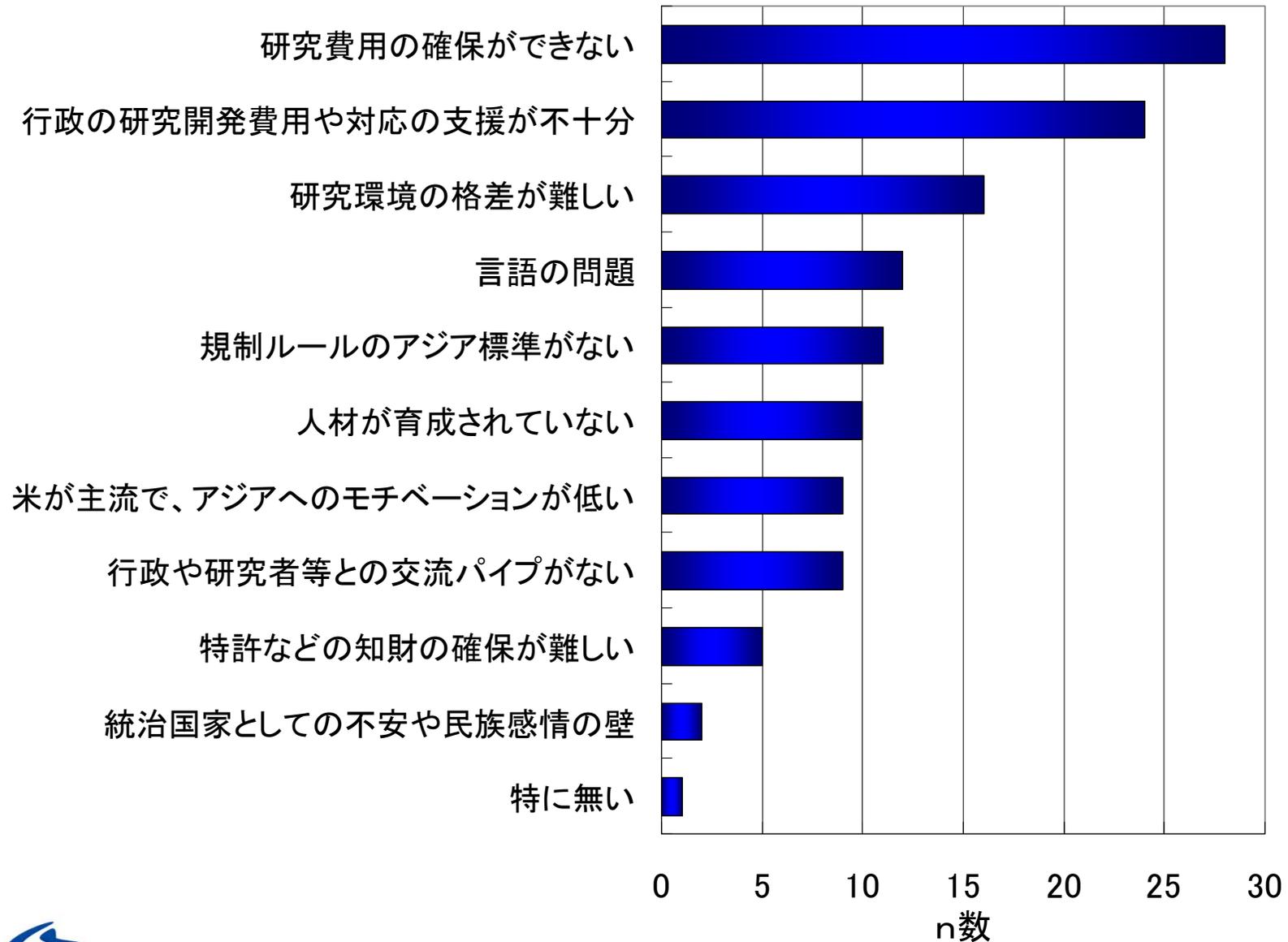
質問② アジアと国際交流を行っているか、または行う予定は？



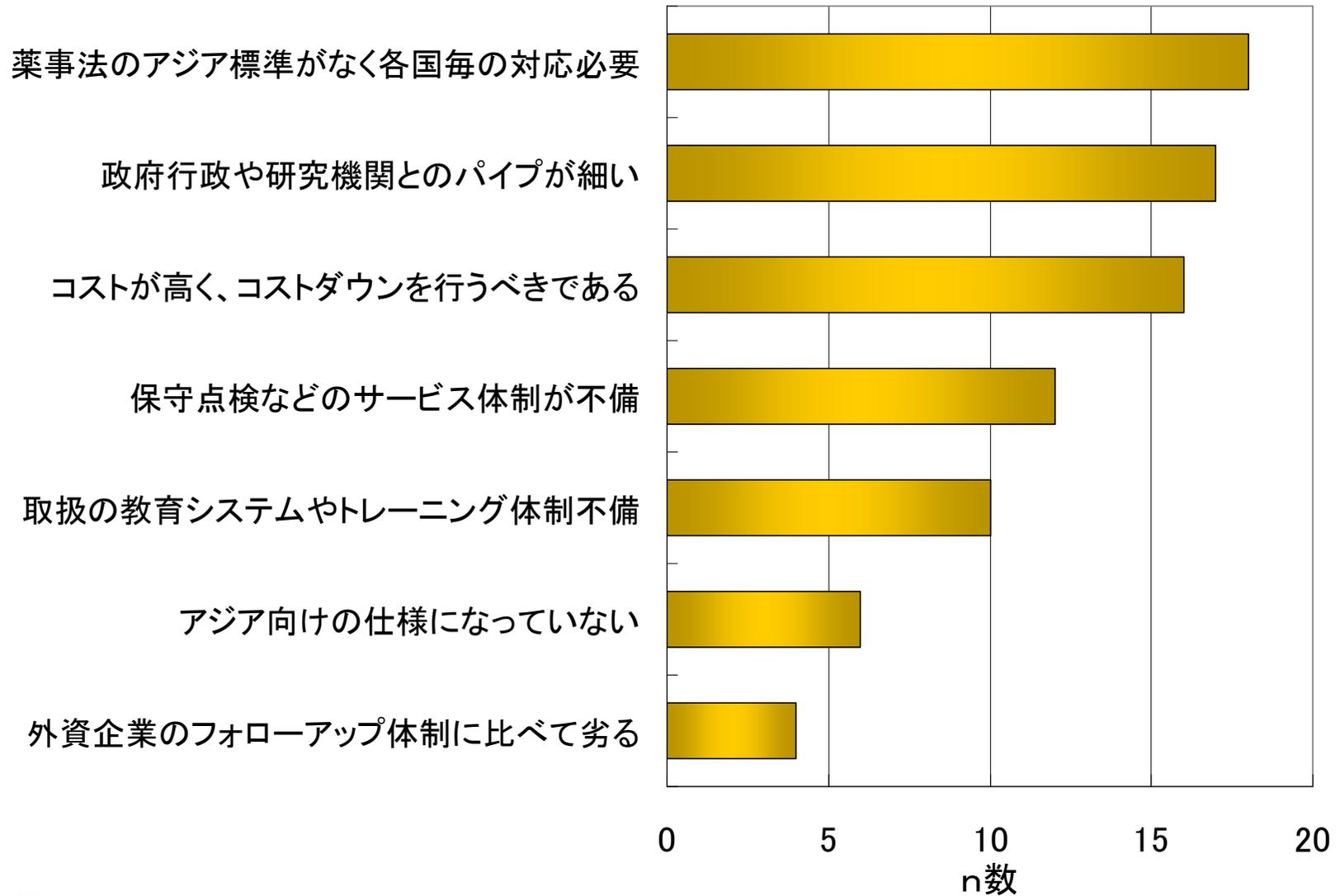
質問③ 国際交流の活動は、どのようなことを行っていますか



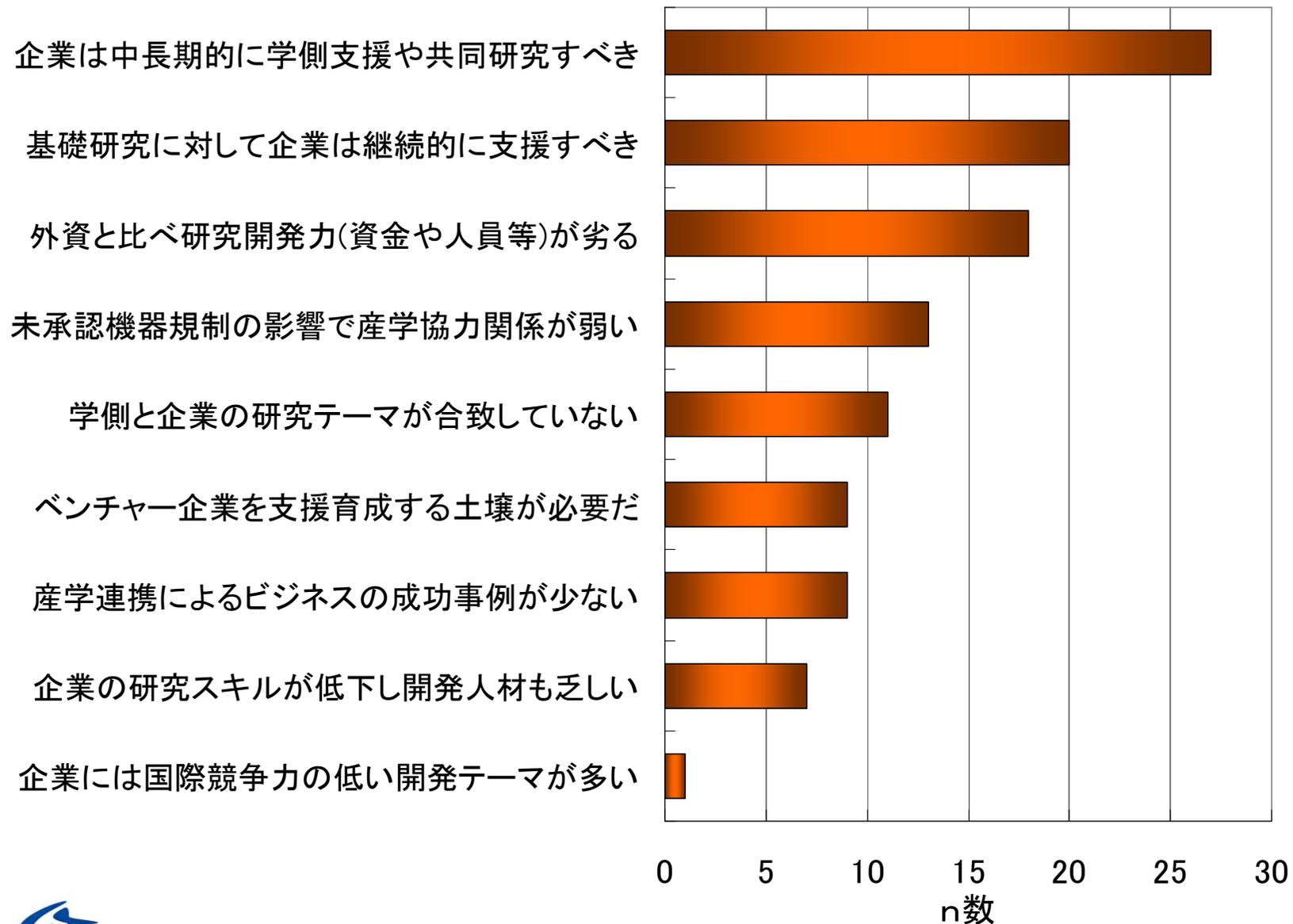
質問⑤ 共同研究を推進する上で考えられる学側の課題



質問⑧ 我国の医療機器をアジアに展開推進する課題



質問⑨ 医療機器の研究開発における産業界に対する要望や意見



医学会108学会へのアンケート調査 中間解析まとめ

1. 医学会の多くは既に個別にアジアとの連携に取り組んでいる。人材交流のみならず、共同研究や技術支援まで踏み込んでいる学会もある。
2. 対象国としては中国と韓国の存在が大きい。
3. アジアとの連携には、行政の支援および産業界の協力を望む声が多いが、組織だった形にまでは具体化していない。

今後の取り組み

1. 学会アンケート調査の分析結果をもとに、産と官の意見を吸い上げる。
2. 産官学が協働できる具体的な連携・交流企画案を検討立案する。
3. 企画の対象国としては、中国を中心にフォーカスする。

